

学校だより

東大阪市立弥刀小学校 No. 10
平成 29 年 12 月 4 日



校長 木田 千賀子 303 名 + 35 名

修学旅行へ行ってきました！！

11月26日（日）～27日（月）に、6年生が広島へ修学旅行に行ってきました。

本校から広島へ行くのは今年が初めてです。その様子を今回はお届けしたいと思います。



<26日（日）大阪 → 広島>

朝6時半に集合し、45分に弥刀中学校前から広島へバスで出発しました。

残念ながら、1名が欠席となりましたが、35名は途中酔うこともなく、元気にバスの旅をスタートしました。

2か所でトイレ休憩した後、11時ごろには広島に到着しました。

到着したら、まずはお昼ごはん！お好み物語広場という、お好み焼き屋さんがずらっと並んだビルの一角で、3軒に分かれて広島焼きを食べました。

その後、平和公園に向かいました。

事前学習で学んできた、原爆ドームの姿や平和の灯を見ながら、原爆の子の像の前に向かいました。折しも、時間はお昼時だったため、公園はすごくすいていて、平和集会も落ち着いて行うことができました。（混んでいるときは、この場所は取り合いになります。）



弥刀小学校全員の思いを込めて折った千羽鶴をささげた後、ボランティアガイドさんと一緒に、公園の中の碑めぐりを行いました。3人のガイドさんと3つに分かれた各グループとで回ったのですが、丁寧に説明してくださるのを子どもたちも熱心に聞き入っていました。



ボランティアガイドさんとお別れした後は、公園を訪れている様々な国の方々に、英語でインタビューをしました。いろいろな国から、観光だけでなく、亡くなった方々への慰霊の意味も込めて訪れて来られていることがわかりました。

次は、資料館の見学。今資料館は工事中で、半分しか見られなかったのですが、「子どもたちはもっと見たい」と言っていました。来年は、改装が完成しているので、しっかり見てもらえたらと思います。



そして、語り部さんからの聴き取り。今回お話いただいた方は、川崎さんという方で、6歳の時に被爆されたそうです。ご家族みなさんが被爆され、がんや心臓病等、今もその後遺症に苦しめられていることに心が痛みました。でも、「平和という川があるなら、その上流の平和という一滴になれば・・・」と、自らの経験を語り継ごうとされている姿に、私たちも学んだことを伝えていく大切さを今一度痛感しました。

その後は、爆心地である島病院の横を通りながら、宿舎「相生」に到着。入館式を終えた後、隣の折鶴タワーに上りました。折鶴タワーからは、広島が一望できます。



そこで、折鶴を折り、平和の壁という折鶴で敷き詰められた壁に鶴を落とす体験もしました。1階には、お土産コーナーがあり、お楽しみのお土産さがし。家族の顔を思い浮かべながら、お土産を選んでいました。お小遣いは3千円なのですが、3千円買うとくじをひけるとあって、何人もがくじを引き、いろいろな品をゲットしていました。見事1等を引き当て、写真撮影さ

れている子もいました。

宿舎へ帰ってからは、夕食、お風呂。その後、平和公園で学んだことのふりかえり。インタビューした結果、世界中から平和公園を訪れている人がいること、世界中に平和を願う人々がいることも実感しました。

そして、就寝。朝早かったからか、みんなしっかり休んでいました。1日目終了！

<27日(月) 広島 → 岡山 → 大阪>

2日目は、7時起床。なかなか起きなくて、意外と朝はバタバタしていました。朝食を済ませたら、閉館式を行い、次の目的地である鷺羽山ハイランドへ。



月曜日ということで、とても空いていて、途中の昼食をはさんで3時間、思い切り遊びました。鷺羽山ハイランドは、ブラジリアンパークということで、サンバのステージやビンゴ、ゲームなども楽しめました。子どもたちが大好きなジェットコースターや、お化け屋敷、スカイサイクル（山肌を自転車で回ります。恐怖と絶景が楽しめます。）など、瀬戸大橋が望めるきれいな景色とともに、友だちとの時間を楽しむことが

できました。

2時に鷺羽山ハイランドを出発して、一路大阪へ！宝塚〜吹田あたりで少し渋滞がありましたが、なんとか5時半過ぎには、弥刀中横に到着しました。

おおいに学び、おおいに遊んだ2日間。小学校最後の大きなイベントである修学旅行を、けがもなく、元気に終えることができたのは何よりです。マナーやあいさつ等課題となる部分もありましたが、第1回目の広島修学旅行としては、成功を収めたといえるのではないのでしょうか。子どもたちの「これから」に続く、学びや友情を、卒業までにより確実なものにしてもらえたらと願っています。

